

令和4年度 延岡市立東海東小学校 学校関係者評価書

4段階評価 4・・・期待以上 3・・・ほぼ期待どおり 2・・・やや期待を下回る 1・・・改善を要する

花いっぱい ゆめいっぱい やさしさいっぱい 東海東小学校

「ゆめ」「やさしさ」のある子どもを育てるために・・・

- ① 多くの知識や技能を身に付けさせる。
- ② 実体験を通して自信を付けさせる。
- ③ 「思いやり」「勇気」といった価値観に触れさせるコミュニケーション活動の充実を図る。

評価項目	評価指標	学校の自己評価コメント (○成果 ●課題等)	自己評定	学校関係者評定	学校関係者コメント
学力の向上 と授業力の 向上	基礎学力の確実な定着 ① 各教科のワークテスト・CRT学力検査で個人到達率80%をめざす。 ② 各学力調査において、全国・県の平均以上の得点率を目指す。 ※ 全国学力テスト(6年・5月) 県学力テスト(5年・12月) ③ 家庭学習の手引きを活用しながら、家庭学習の定着を図るとともに、宿題等の提出率が100%になるようにする。 ④ 読書活動推進のための手立てを工夫しながら、各学級で月ごとの読書量の目標を設定し、それを超えるように取り組む。 ⑤ 表現力の向上に向けて、作文等の作品応募や新聞投稿を積極的に行う。	○学習直後は理解している児童が多い。 ●学習内容の確実な定着を図っていく手立てが必要。 ○ワークテストは70～80%だった。個人差が大きい。 ●個別指導の時間確保。 ●読書の時間確保、家読を勧めていきたい。 ○新聞投稿に取り組み、掲載された児童も多くいた。	2. 1	2. 6	○学力調査の結果に一喜一憂せず、実際の社会の中で身に付ける力等々を培うことが基本だと思う。 ○学力の向上はすぐに結果が見えるものではないが、コツコツ取り組み児童の様子に変化があれば、結果にもつながってくるのではないかと。 ○高学年になると委員会活動等もあり、図書室を利用する機会が減り読書量も少なくなる。家読をPTAの取組の一つにしてはどうか。
	教職員の授業力の向上 ① 「わかる できる」まで「教える 引き出す」授業を目指して、授業研究や相互授業参観を年1回以上行う。 ② 授業においてICTの効果的な活用を図るとともに、児童用タブレットPCの活用を推進する。 ③ 指導力の向上を目指して、メンターチームにおける指導技術についての協議を充実させ、OJTを推進する。 ④ タブレットPCを活用した指導法について研修を深める。	○タブレットPCの効果的な活用法について研修を行い授業で生かしていった。 ○研究授業や相互授業参観を行い、スキルアップを図った。今後も取り組みたい。 ●児童同士で学び合う学習の時間を確保していきたい。	2. 8	3. 2	○相互授業参観を通して教員のスキルアップを図っているのはすばらしい。今後も主体的に指導力の向上に努めてほしい。 ○学力は、読み・書き・計算が基本だと思う。タブレットPCも効果的に活用することで基礎的な学習の定着が図られるのではないかと。

自信と 思いやりの 心の育成	<p>温かい人間関係づくり</p> <p>① 生徒指導の三機能を生かし、いじめや差別のない温かい学級づくりを目指す。</p> <p>② 毎月1回、悩みアンケートを実施して早期解決を目指すとともに、ハートフル委員会での情報交換をもとに共通指導を行う。</p> <p>③ 教育相談を年3回(学期1回)設定し、児童全員との対話をもとに、児童の状況を把握し、問題解決に努める。</p>	<p>○こころ(悩み調査)カードや教育相談及び日々の生活から情報収集を行いながら適切に対応した。</p> <p>○困っている地域の人に手助けをする等、思いやりのある児童が増えてきている。</p> <p>●特別支援教育や不登校傾向対応の会議・研修の充実を図る。</p>	2. 9	3. 3	<p>○子どもたちは学校に楽しく通えていると思う。あいさつもきちんとできていて、中学生になっても当たり前に行っているのが素敵です。</p> <p>○人間関係や心の悩みの解決はたいへん難しく、適切な対応も一人一人違ってくると思う。先生方が一丸となって児童の心のケアに努めていて感謝する。</p> <p>○まわりで不登校の子が増えてきていると実感している。家庭と連携して少しでも登校できるようにしてあげてほしい。</p>
	<p>基本的な生活習慣の定着</p> <p>① 生活リズムの取組の達成率を設定し、家庭に啓発する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早寝早起き80% ・ 朝ごはん100% ・ ゲーム、テレビのきまり80% <p>② 学校のきまりについて、毎月1回、児童が自己評価を行う機会を設け、学校生活の規律達成を90%以上にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつ ・ 返事 ・ 履物並べ ・ 無言清掃 	<p>○すこやか(生活振り返り)カードの取組により自分たちの生活を見つめ直すよい機会になった。</p> <p>○学校のきまり等については、生徒指導主事が校内放送で注意を促したり、学級担任が適宜指導を行ったりした。</p> <p>●コロナ禍の影響からか、生活習慣の乱れによる欠席や遅刻がみられる。家庭生活が落ち着くことで、学校生活にもよい影響を与えるので、専門家の講演等も行い、家庭への啓発を図っていく。</p>	2. 4	2. 7	<p>○基本的な生活習慣の定着は、児童の成長にとってなにより大切なものだと思う。学校と家庭が同じ方向を目指して取り組めるよう、根気強く歩を進めて頂きたい。</p> <p>○ゲーム・テレビ・ユーチューブ等は時代の流れで、更に難しい問題になっていき、先生方の指導は大変になると思われる。</p> <p>○生活のリズムやゲーム・テレビについては、学校より家庭の問題だと思う。父親・母親も一年生から始まっているので、学習する場も必要なのではないかと思う。</p> <p>○専門家の講演を行うのは賛成だが、その話をいかにより多くの保護者に伝えることができるのが課題だと思う。</p>

	体験活動の充実 ① 授業や学習活動の中に、積極的に体験活動を位置付ける。 ② 花いっぱい運動を充実させ、責任をもち、進んで世話をしようとする実践力を育てる。	○校外学習や栽培活動等を通して、地域のひと・もの・ことや自然のふれあいから学ぶ活動に取り組んだ。 ●ボランティアを募り、花いっぱい活動の充実を図っていく。	3. 0	3. 4	○ひとくちにボランティアと言ってもたくさんある。児童の特性を生かすボランティアに出会うことができたらよいと思う。
	特別支援教育の充実 ① 児童及び保護者の困り感を理解し、その解消に努めるとともに、サポート・相談体制の充実を図る。	○SCやSSW、エアコーディネーターや専門機関等との連携を図り、児童や保護者の困り感の把握に努めるとともに、解消や助言を行った。 ●困り感の解消に向けて、個々の児童の実態に合わせた手立てを行っていく。	2. 0	2. 8	○不登校対応や特別支援を要する児童への対応は、ケース会議等、児童・保護者の困り感に傾聴の姿勢が大事だと思う。 ○個々の児童の実態に合わせた手立ては難しい事項だと思うが、ゆっくりでいいので一人一人とことん付き合っってやってほしい。
基礎体力、耐力の向上と健康教育の推進	体育科授業等における基礎体力づくり ① 体育の時間には活動の場やルールを工夫し、実運動時間を30分以上確保する。 ② 昼休み時間、「みんなで遊ぶ日」を適宜設定し、晴れた日の外遊びを推奨する。 ③ なわとび運動や持久走の取組を工夫しながら、走・跳の力や持久力の向上を図る。 ④ 日々の指導の中で、個別の目標やめあての達成に向けて、粘り強くやり抜く（続ける）態度を身に付けさせる。	○体育の学習においては、運動や体づくりの時間確保ができた。 ○晴れの日、みんなで遊ぶ日を設定し、外での遊びを推奨しているので、多くの児童が外で元気に遊んでいる。 ●コロナ禍により児童の体力低下が顕著である。	2. 6	3. 2	○児童は、よく昼休みに外で遊んでいる。運動が好きな児童が多い児童の特性を生かし、持久走や跳び縄、ラジオ体操等、継続的な運動の取組の実践も必要ではないか。 ○コロナ禍における児童の体力低下は大いに懸念される。児童に運動の大切さを理解させ、体育の授業だけでなく日々の生活の中で体を動かす習慣が身につくようにしてほしい。 ○体力作りは、食と同じで健康な体の基本なので、学校だけでなく家庭でも時間確保が必要だと思う。
基礎体力、耐力の向上と健康教育の推進	健康教育の推進 ① 定期的に、「保健だより」を発行し、保護者の健康教育に対する意識を高める。 ② 長期休業前の啓発等の工夫をとおして、むし歯のない児童や治	○健康や感染症対策に関する「保健だより」の発行により、意識の向上につながった。 ○食生活やメディアに関して			○子どもからも「今日学校でこんな話を聞いた」と聞くことがあり、よく情報発信してくれていると思う。

	<p>療が終わった児童が全校で80%をこえるようにする。</p> <p>③ 弁当の日を夏季休業中に設定し、事前・事後指導を充実させ、食と健康について親子で考えたり、実践したりする。</p> <p>④ 新しい行動様式を取り入れた生活指導を積極的に行い、感染症予防に努める。</p> <p>⑤ 児童のメディア利用についての実態を把握し、メディアコントロールのための指導を推進する。</p>	<p>養護教諭による授業も実施し、児童や保護者の意識改革や取組に効果が見られた。</p> <p>●児童のメディア利用については、実態を把握し、依存傾向にならないよう指導を行っていく。</p>	3. 0	3. 3	<p>○健康・安全・生活のリズム等に関わる啓発は、学校保健委員会の充実が重要だと思う。</p> <p>○食と健康は基本である。子どもの頃の食生活が一生の元になるのでとても重要だと思うので積極的に推進して欲しい。</p>
保護者、地域との連携・協働	<p>地域とのつながりの充実</p> <p>① 月1回「学校だより」を発行するとともに、週に3回以上学校ホームページを更新し、学校の情報を積極的に発信する。</p> <p>② 令和5年度からのコミュニティ・スクール導入に向けて、地域との関わりについて熟議を重ねるとともに、学校運営協議会の組織づくりを行う。</p> <p>③ 権伝馬踊りの伝承活動に取り組み、たくさんの人の前で披露する機会を設ける。</p>	<p>○ホームページの更新を行い、学校の様子について発信した。</p> <p>○地域の方のご協力で、地域の歴史や伝統文化、農業体験等を学ぶことができた。今後大切にしていきたい活動として継続していく。</p> <p>●新型コロナウイルス感染症の規制緩和を受け、地域と関わる活動の充実を図っていく。</p>	3. 0	3. 6	<p>○学校だよりやホームページを随時発行（発信）されているので、学校での様子がよくわかる。保護者も学校の行事等が確認でき、家庭でも話題になってよい。</p> <p>○コロナ以前の活動が少しずつ戻ってきて、児童も喜んでいと思う。</p> <p>○コミュニティ・スクールの導入は大変だと思うが、地域の人材を有効に活用していくとよい。</p>
	<p>地域人材の活用とキャリア教育の推進</p> <p>① 各学年において、地域人材・素材を活用した学習に積極的に取り組む。</p> <p>② キャリア教育について、これまでの取組を広げ、深めることで、「学ぶこと」「働くこと」について考えさせる場面の充実を図る。</p> <p>③ キャリア教育支援センターの人材や動画コンテンツ等の積極的な活用を図る。</p>	<p>○かけ算九九習得に向け、地域の方にも関わってもらった。</p> <p>○キャリアパスポートを作成していくことで、自分を見つめることができた。また、家庭との架け橋にもなり、今後も継続して取り組んでいく。</p> <p>●コミュニティ・スクール実施に向け、学習にも多くの方に関わってもらえる取組を行っていく。</p>	2. 7	3. 2	<p>○地域人材・素材を活用した学習はますます積極的に取り組むべきと思う。児童達も変化のある学習で楽しいのではないだろうか。</p> <p>○かけ算九九の授業に楽しく参加させて頂いて、児童の頑張りに感動した。今後も続けてほしい。</p> <p>○キャリア教育に意欲的に取り組まれ素晴らしい。児童にとって貴重な時間になっていると思う。</p>